

## 新潟県薬剤師会 薬剤師ボランティア活動報告書

班名	C 班	報告日	平成 23 年 4 月 22 日
報告者氏名	水野 博高	同行者氏名	田辺 裕一
活動期間	4 月 15 日 ~ 4 月 18 日	宿泊場所	石巻高校
活動拠点	石巻高校 近辺	ジャンプへの掲載	掲載してもよい <del>掲載を希望しない</del>
交通手段	自家用車		
主な活動 (簡潔に)	刈町立病院にて調剤・投薬。刈川総合体育館にて、調剤・投薬。渡波小学校の簡易診療所にて DMAT の補佐。各避難所への OTC 配給 および 医薬相談。港小学校にて DMAT の補佐。		

## &lt;活動の内容&gt;

(活動内容以外にも感想や気づいた点等、ご自由に記載してください。スペースが足りない場合は別紙にご記載ください。)

石巻高校を拠点とし、女川町立病院・女川総合体育館・港小学校・渡波小学校・ヤンマー(企業)・石巻高校の診療所における調剤・投薬のサポート。および、各避難所への OTC 配給やお薬相談などの業務を行った。震災から 1 ヶ月がたち、避難所でのニーズや診療所にこられる方のニーズがずいぶんと変わってきている。OTC などは十分配置され必要とされることが少なくなってきたなか、診療所では急性疾患より慢性疾患の薬を必要とされるようになってきている。長期の処方はその場で対応できない為、処方を石巻赤十字病院で調剤し 3 日後にその避難所に届けるということを行っている。地元の診療所も再開される医師も出てきており、私が活動していた 3 日間でもずいぶんと変わってきている。診療所のある避難所は良いのですが、診療所のない避難所には各県の DMAT が診察に行っているが、巡回しきれない箇所などがあり、我々薬剤師が各避難所を巡回し確認も行った。

ボランティアに参加される方のほとんどが 3 泊 4 日と短期間で、しかもいくつものグループが同時にいなくなってしまう前回のグループとの引継ぎがうまく行えていないことが問題となっている。実際 活動していたメンバーが日曜日には 23 人いたのが月曜日の朝に活動できる人が 8 人になってしまった。次のグループが到着する前にほとんどのグループが帰らなくてはいけない現状でした。現場を仕切るリーダーもいきなり任命され何も分からない状況で頑張っておられた。お風呂に入ることが出来ない為 4 日以上は活動はきつい物があり、地元の温泉施設に行くことも検討されている。

今後、一度経験された方が再度ボランティアに行かれるようになると、状況も変わってくると思われるが、地元の薬剤師会の方が平日だけでも活動拠点に来てくれるととってもスムーズに業務が引き継いでいけると思います。また、日々状況が変わるのでその状況を把握できるすべが欲しいと感じました。